

# 美術館をめぐる対話



[美術館をめぐる対話 下载链接1](#)

著者:西沢 立衛

出版者:集英社

出版时间:2010-10-15

装帧:平装

isbn:9784087205640

プリツカー賞受賞後の対談集！

金沢21世紀美術館の設計者である著者が青木淳、平野啓一郎、南條史生、オラファー・エリアソン、妹島和世と対論。建築が変わればアートも変わるという「21世紀の新しい美術館像」を本書で提示。

近年の美術館は従来の箱ものの行政の産物から、新たな「開かれた」存在へと変化を遂げつつある。その一例として記憶に新しい金沢21世紀美術館は、建築家ユニットSANAAの設計。妹島和世と著者による同ユニットは国外でもルーヴル美術館ランス別館などを手掛け、二〇一〇年度プリツカー賞を受賞した。本書では第12回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展の日本館出展作家を務めた著者が青木淳、平野啓一郎、南條史生、オラファー・エリアソン、妹島和世と対談。美術館設計で建築家に求められるもの、都市の歴史から見た美術館、アートと建築の相互関係などを考える。

作者介绍:

西沢 立衛（にしざわ りゅうえ）建築家。一九六六年東京都生まれ。九〇年横浜国立大学大学院修士課程修了。妹島和世建築設計事務所を経て、九五年妹島和世とともにSANAA設立。九七年西沢立衛建築設計事務所設立。主な作品に森山邸、十和田市現代美術館など。SANAAの作品では金沢21世紀美術館、ニューミュージアム、ロレックス・ラーニングセンターなどがある。二〇一〇年プリツカー賞受賞。横浜国立大学大学院 Y-GSA教授。

目录: 序章 二一世紀の美術館とその建築的な展開  
第1章 青木淳×西沢立衛—脱象徴化する美術館と展示空間の質的变化  
第2章 平野啓一郎×西沢立衛—都市の歴史から見る美術館の現在  
第3章 南條史生×西沢立衛—美術館を核にした都市計画とその可能性  
第4章 オラファー・エリアソン×西沢立衛—現代美術の視点から美術館概念を再構築する  
第5章 妹島和世×西沢立衛—つくることと見せること。美術館をめぐる建築的实践  
・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[美術館をめぐる対話\\_ 下载链接1](#)

标签

建

architect

评论

与建筑家谈象征 空间 改建；与小说家谈历史 文化 艺术；与美术馆馆长谈规划 城市

运营；与艺术家谈创造 体验 人；与好搭档谈设计 功能 使用

-----  
[美術館をめぐる対話\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[美術館をめぐる対話\\_ダウンロード1](#)